

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日:令和5年11月1日

回収率 24/29

事業所名:あじさい

サービス種類:(放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	決められたスペースの中で、いかに安全かつ充実した活動になるかを考えながら療育活動や学習支援を行っている。	はい:18 どちらともいえない:3 いいえ:1 わからない:2 部屋がいくつかあり、活動しやすい環境の配慮がされている。また整理整頓されており、心地よく過ごせる空間に	限られたスペースの有効活用の仕方をその都度考えていく。
	2 職員の適切な配置	児童発達管理責任者、公認心理士、児童指導員、保育士を配置している。	はい:20 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:2	児童発達管理責任者1名、公認心理士1名、児童指導員4名、保育士1名の職員が在籍している。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	予定やタイムテーブルを張り出し、見通しをもって行動できるようにしている。また、個別に対応が必要な児童については、パーテーション等を使って個別の空間を	はい:20 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:3	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃、整理整頓、消毒を行っている。	はい:21 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:2	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員会議や打ち合わせの時間を使って、各職員からの意見を聞きながら取り組んでいる		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	今後の検討内容にしていく。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	必要に応じて研修会を実施したり、外部の研修に参加している。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	6ヶ月毎に保護者との面談を行い、聞き取った内容と職員の意見を総合的に判断し、支援計画の作成を行っている。	はい:24 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0 支援計画は個別的で手厚い支援無いようにして下さっていて大変満足しています。	
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者のニーズや子ども自身のニーズを取り入れながら具体的な支援内容を取り入れた計画書の作成を行っている。	目標に向けてスタッフの方が統一して支援して下さっている事が良く伝わります。とても丁寧に見てくださっていてありがたいです。	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	具体的な支援内容検討し、記入している。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画に沿った内容の療育内容、目標を設定し、実施している。また、職員間での共有を心がけ、職員会議や打ち合わせでのすり合わせを行っている。	はい:23 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	内容によって担当職員を決めて実施している。担当職員は事前に全職員に内容や目的を周知し、共通理解したうえで実施している。	はい:24 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0 とてもいろいろな内容を考えて下さっていてありがたいです。 夏休みにたくさんの思い出作りができました。	
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	季節の行事や外出などを取り入れながら、マンネリ化にならないようなプログラムの作成を心がけている。また、保護者のニーズに合わせた利用が出来るように可能な範囲で調整している。		
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	1ヶ月の予定を内容を日替わりで実施し、その都度内容の反省や検討を行っている。		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	月間予定については職員会議や予定表で周知し、当日の打ち合わせでその日の利用予定者と支援内容、役割等の詳細を確認する。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	ケース記録と日誌への特記事項や問題点の記入と打ち合わせ時に口頭確認をし、情報の共有を行う。		
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	ケース記録への記入し、問題点があれば職員間での情報の共有及び検討を行う。		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6ヶ月毎に保護者との面談を行い、聞き取った内容と職員の意見を総合的に判断し、必要に応じて支援計画の見直しを行う。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	要請に応じて積極的に参加している。		
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて情報共有を行っている。		
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	必要に応じて情報共有を行っている。		
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	積極的に参加している。		
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施できていない。	はい:9 どちらともいえない:3 いいえ:3 わからない:9	実現に向けて関係機関等と連携しながら検討していく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	実施できていない。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に口頭及び文章で説明している。また、その都度、口頭や文章、ラインなどを通して伝えている。	はい:24 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6ヶ月毎に保護者に来所してもらい支援計画を基に支援内容や児童の様子等を伝えている。保護者の意見や感想、希望等を踏まえて支援計画を作成し、保護者へ説明、了承を得ている。	はい:24 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者より相談があった場合は、必要に応じてアドバイスをを行っている。	はい:17 どちらともいえない:2 いいえ:2 わからない:3	利用者の保護者を対象とした障害に関する勉強会を実施予定。今後も定期的に支援していく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や電話、ラインで状況に応じてツールを使い分け、報告を行っている。	はい:24 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0 毎回連絡ノートやラインでの写真を送ってくださり、子供の状況がとてもよく分かり嬉しく思います。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談の内容に応じて、連絡帳や電話、直接面談などで対応している。	はい:23 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0 面接で支援してくださっている内容や本人の課題がよく分かるのでありがたいです。	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施できていない。	はい:10 どちらともいえない:4 いいえ:2 わからない:8	要望があれば応えていくようにする。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	窓口職員を保護者に知らせている。直接言いにくい場合は、市の窓口や相談支援員を通じて伝えてもらうようにしている。苦情を受けた場合は、書類を作成し、職員間で共有、改善に努めている。	はい:21 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:3	苦情があった場合は、速やかに対応する。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	視覚支援(スケジュールの作成や絵カードの使用)や保護者とラインでのやり取りなどを行っている。個別に合った内容で情報伝達や意思疎通を行えるようにしている。	はい:24 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	療育予定表の配布や、毎月の状況報告書の作成を行っている。	はい:17 どちらともいえない:3 いいえ:1 わからない:3	必要に応じてその都度対応していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	保護者からは個人情報の取り扱いの同意書を得ている。個人情報に関するファイルについては、鍵のかかる書棚で保管。また、PCについては、暗証番号を設置して	はい:22 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:2	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルの作成を行い、必要時にはマニュアルに沿って行動している。その都度保護者へ必要な情報提供を行っていた。	はい:23 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0	昨年度より周知できてきており、今後も引き続き周知していく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的(6ヶ月に1回)に訓練を実施し、その後児童、職員共に振り返りを行うことで、最善の方法を考えていき、事業所内で共有できるようにしている。	はい:21 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:3	利用曜日によっては参加できていない児童がいるので、全員が何らかの形で参加できるようにしていく。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	虐待防止研修を実施し、事業所内で共有している。		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	今のところは身体拘束を行うことはないが、今後必要があれば、取り組みを徹底していく。また事前に研修を実施し理解を深めていく。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	今のところ食物アレルギーのある児童はいないが、今後必要に応じて対応できるようにしていく。		
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書を作成し、対応策を検討し事業所内で共有している。		